

地域経済を支える商工会として 第61回通常総会

神奈川県商工会連合会(会長・関戸昌邦)は、令和4年5月30日(月)ホテル・ザ・ノットヨコハマにおいて第61回通常総会を開催しました。開催に先立ち、ご逝去された小田原市橋商工会長小野澤藤一様と座間市商工会長本享一様に哀悼の意を表し、1分間の黙祷を捧げました。今回も昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症対策を徹底して開催しました。

関戸県連会長は、「新型コロナウイルスの感染も続く中、ウクライナ問題等、現在の経済状況において商工会が役に立たなければいけない場面が続いている。先行き不透明な中でも一生涯命励み、耐えておられる会員事業者がいるという実感を持つということが商工会にとって大事な価値観である。」と挨拶をしました。



挨拶する関戸県連会長

総会の議長は山北町商工会の松澤会長が務め、議案については、第1号議案の令和3年度事業報告書並びに令和3年度一般会計及び同年度特別会計決算書、第2号議案の役員の補欠選任が全て原案どおり可決承認されました。新役員は次のとおり



第61回通常総会を対面で開催

新会長に藤田純子氏(真鶴町)が就任 県女性連 第48回通常総会・ 主張発表大会・リーダー研修会開催

5月10日(火)レンブラントホテル海老名にて第48回通常総会を開催しました。第1号議案の令和3年度事業報告書並びに決算書、第2号議案の令和4年度事業計画書(案)並びに予算書(案)が原案どおり承認可決され、第3号議案の任期満了に伴う役員改選については、役員選考委員会で選考された役員全てが承認となり、新会長として藤田純子氏(真鶴町)が就任されました。

新役員は次のとおり(敬称略)
会長 藤田 純子(真鶴町)
副会長 齋藤マリ子(逗子市)
理事 佐藤 明美(愛甲)
高橋みどり(大磯町)
峰尾由美子(小田原市橋)
鍵和田貴実代(足柄上)



新役員の顔ぶれ

午後からの主張発表大会・リーダー研修会に先だち行われた表彰式では、令和3年度末に退任された8名の部長へ柏木前会長より感謝状と記念品が贈呈されました。続いて行われた役員増強運動では、令和3年度部員増強運動表彰では、加入実績が優秀であった逗子市・伊勢原市・寒川町・綾瀬市・南足柄市の各青年部が表彰されました。



主張発表最優秀賞 峰尾氏(左から2番目)

動では、令和3年度内に7名が加入した逗子市と6名が加入した伊勢原市が表彰されました。

第17回主張発表大会では、各ブロックより代表となった3名の発表があり、最優秀賞に女性部活動と地域振興・まちづくりのテーマで発表した小田原市橋の峰尾由美子氏が選ばれました。(峰尾氏は、令和4年7月6日(水)に開催される関東ブロック商工会女性部交流研修会で行われる主張発表大会に神奈川県代表として出場されます。)

続いて行われたリーダー研修会では、令和3年度部員増強運動表彰では、加入実績が優秀であった逗子市・伊勢原市・寒川町・綾瀬市・南足柄市の各青年部が表彰されました。

6月10日は「商工会の日」 県知事表敬訪問

昭和35年6月10日に商工会法が施行されたことを記念し、県商工会連合会及び県青年部連合会、県女性部連合会の正副会長が黒岩知事を表敬訪問しました。

県内中小企業・小規模事業者の現況や商工会の支援事業等について説明、意見交換を行いました。

黒岩知事からは、物価高騰やウクライナ情勢などの影響を受けて「いのち」と「くらし」を守るための取り組みを行ってほしい。また、消費喚起策として「かながわPay」の第2弾を計画している。商

研修会においては、令和3年度に採択されたビジネスコミュニティ型補助金の取り組み内容について、逗子市・座間市・二宮町・湯河原町の4商工会が商品開発等の経緯と今後について発表を行いました。

商工会青年部はネットワークを広げます！ 県青連 第55回通常総会・ リーダー研修会

5月17日(火)神奈川県中小企業センタービルにおいて、第55回通常総会を開催しました。本年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を行いながらも、2年ぶりとなる来賓を招待しての通常総会となりました。

審議では、第1号議案の令和3年度事業報告書並びに決算書、第2号議案の令和4年度事業計画書並びに予算書について審議され、全て原案どおり可決承認されました。



挨拶を行う山本会長



感謝状を授けられる小野澤前部長



講演する藤井壮太郎氏

神奈川県信用保証協会

金融支援
創業支援
経営支援

～夢と未来に向けて～
かながわの中小企業を
応援します

カネモ

随時ご相談をお受けしています
企業支援部 TEL: 045(681)7174

わかばカード提携店募集中

新規

安心と生きがいを保障

お問い合わせ・資料請求【業務推進部】
TEL 045-201-3039
平日9:00~17:00(土・日・祝休)

県民共済

神奈川県民共済生活協同組合 横浜市中区桜木町1-1-8 県民共済プラザビル

写真には神奈川県提供

工会の皆様と一体となつて全力を尽くしたいとの話がありました。

ビジネスコミュニティ型補助金

「湘南オリーブの実から枝葉まで

すべてビジネス活用」

二宮町商工会女性部の活動

神奈川県二宮町では2012年からオリーブの栽培普及に着手し、現在1800本のオリーブを栽培しています。女性部では、「共同思考」を推進し、湘南オリーブで日常生活が豊かになるようなビジネスインベシジョンを推進できるように活動して

ここ最近健康志向やレシピブームなど生食を中心とする需要が急成長していますが、オリーブオイルの搾油量は収穫した実の10分の1弱になるため生産量はとも少なく、二宮町でオリーブを栽培していることを知る消費者は少ないです。



オリーブ畑

剪定された枝葉に着目

オリーブを適正に育てるのには剪定が欠かせません。そこで出る剪定枝の量は1本あたり5.6kg。年間で約10tの産業廃棄物が処理されています。この太い枝を産業廃棄物として処理せず有効活用できないか、



オリーブの木から作った炭

女性部内で日常生活が豊かになるようなビジネスインベシジョンを意識して何度も会合を重ね、オリーブについても勉強会やワークショップにも参加し理解を深めてきました。商品のコンセプトは、普段使い・安価・気軽・優位差を基に考え出されたのが「炭」でした。地元の「湘南二宮ふるさと炭焼き会」に協力していただき、廃棄処分されていた枝は、この活動に

より「炭」へと生まれ変わりました。

オリーブ事業で地域活性化へ

また商品化にあたり、アンケート調査やサンプルの配布を行い、アンケート結果からは炭に対する「価格」「容量」「パッケージ」に対し評価も高く、「炭」に対する効果、活用方法についても十分に認知されていました。廃棄処分されていた太い枝は、この活動により「炭」へ生まれ変わり家庭でのインテリアや消臭効果等に使用され、SDGs（持続可能な開発目標）のNo.12「つくる責任つかう責任」継続可能な消費と生産パターンを確保することが可能となりました。また、オリーブの枝以外でも、この事業は水平展開が可能とされ、二宮町から出る樹木の枝を炭に変える事業も可能となります。さらに、炭を商品化することにより、農工商・観光の各産業が連携し地域活性化にも繋がりました。今後、オリーブ炭を商品化するために、



オリーブ事業について話す女性部

「ターゲット設定」「強みの明文化」「販売方法」「販売形態」「販売ツールの開発」等を検討し商品化を目指したいとのこと。また、新たなオリーブ関連商品を作ることによって、町のイメージアップで交流人口を増やし、生産・加工・販売に関わる事業者の所得増大と6次産業化への発展に繋がっていきたいとお話しました。

お問い合わせ先 二宮町商工会 0463-711-082

小規模事業者の「売れる商品開発」 第3回

開発商品を知っていただくために



Smile Circle株式会社 代表取締役 岩城 紀子

商品の特性に合わせたPR方法

せっかく作ったこの商品。さて、どうやって世に広めて販売していくか。

「作る事は得意だが、販売することが苦手」というのはよくあるお話です。大事なものは、商品の特性に合わせて方法を使い分けていくこと。

まずは出来上がった商品分析していきましょう。

①シーズン問わず年間を通して大量に作れる商品なのか

②季節限定、数量限定の商品なのか

③大量生産は一切できない貴重なものなのか

これらのうちどれに該当するかによって販売先は全く変わってきます。

①の場合は、安定的に店頭で常時販売していただけるパート

ナーを見つめるために、「商談」の場を積極的に持ちましょう。その分野の商談会・展示会に出展しバイヤーの方に知っていただくのは昔からの方法ですが、確実に需要と供給がぶつかり合う場所ですので効果的です。

②の場合は、百貨店での催事や、通販会社への提案、お中元お歳暮などが効果的です。ここで非常に重要なのは提案するタイミングです。雑誌社、百貨店とも実際に販売できる半年から10カ月前ぐらいに提案をしておく必要があります。先を見据えて動ける体制を作っておきましょう。

③の場合は、実際に買って頂きたいのかを具体的に考えた上で、その商品の価値をわかってくれる顧客を見つけましょう。良さを理解してくれる方に対して想いをしっかりと伝える

コラボレーションや開発のストーリー

最近、巷ではコラボレーションが非常に活発です。その理由は、自社の顧客だけでなくコラボレーションする相手方の顧客を巻き込むことができるので、商品PRの効果が倍増するといえるのがメリットとして挙げられます。

また、「商品が出来るまで」など販売前からSNSで取り組

こんな視点も

最後に、あえてこういった意見も添えておきます。

今は沢山の商品が生まれ、皆がSNSを活用しようとする中で、逆に昔は主流であったチラシや、紙のカタログ、葉書でのDMなどはほとんど見なくなりました。そんな今だからこそ、競合の少ない「昔ながら」の宣伝方法を活用して成功している商品もある、という事実も知っておくと良いでしょう。

販売は簡単ではありませんし、正解もありませんが、皆さまはその方法を選択することが出来ます。その道のプロと組む、自分で学んで実行するなど、自社の強み弱みを知った上で進むべき道を判断していきましょう。

Smile Circle株式会社 代表取締役 岩城 紀子

1972年兵庫生まれ。ギャップジャパン、機能性食品開発のバイオベンチャーを経て、2008年にSmile Circle株式会社を設立。「素晴らしい食品をつくりながらも商売下手な」生産者に代わって、販路拡大、商品開発を担いながら大手百貨店、大手食品通販のバイヤー代行として事業を展開。約100社以上の販売先と、全国各地の約3000社のメーカーと取引する。グループ会社として、NYチョコレートマリベルやショップ&デリのグランドフードホール、一日製造数量限定のパウムクーヘンや漢方などの事業も持っている。現在は食品の「裏を見て」買い物をする、「買い物は投票」という考えを世間に広めながらの活動と、「添加物を限りなく減らしたい」「身体に良い食品を作りたい」という考えをもつ企業や食品メーカーの商品開発やコンサルティングを精力的に行っている。

著書に「裏を見て「おいしい」を買う習慣」(主婦の友社) 出演に「カンパリア宮殿」(テレビ東京 2020年5月21日放送)、「セブンルール」(カンテレ 2021年11月23日放送)

伊勢原市商工会長 高橋宏昌氏が受賞 第75回 県民功労者表彰

県の最高表彰のひとつである「神奈川県民功労者表彰」は、公共の福祉に貢献し、その業績が特に優れた方々を広く顕彰することを目的として実施されています。高橋氏は、多年LPガス販売業に携わるとともに、伊勢原市商工会会長等を歴任し商工業の活性化と地域経済の発展に優れた成果をあげるなど、産業の振興に尽くしたことが評価されました。



黒岩知事と高橋会長